
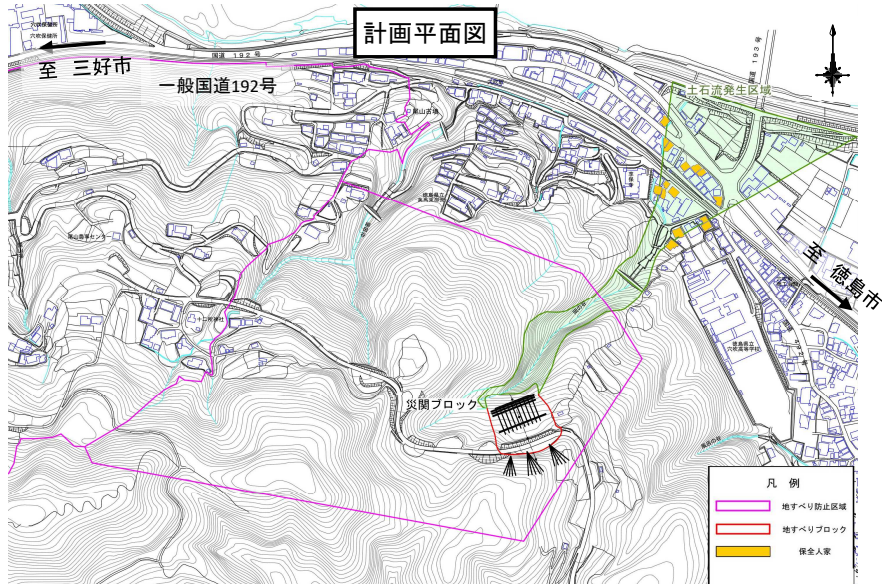



砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

事業の概要

担当課長名 山名 剛

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県美馬市穴吹町穴吹	箇所名	八本松(はちほんまつ)地すべり防止区域		
事業概要					
排水ボーリング工 L=655m、受圧版アンカー工 N=86本					
事業の目的・必要性					
当地区は、美馬市穴吹町に位置し、平成26年8月台風11号に伴う豪雨により地すべりが発生した。下流には、国道(390m)や鉄道(120m)、人家(15戸)があり、地すべりが拡大すれば甚大な被害が発生する恐れがあったため、災害関連緊急地すべり対策事業の採択を受け、平成26年度から対策を実施した。					
総事業費		171百万円			
事業概要図・写真					
 <p>施工箇所</p>		 <p>計画平面図</p>			
 <p>完成写真</p>					

事業評価結果

事業効果等	評価項目	評価内容
	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費275百万円→変更全体事業費171百万円 計画工期H26～R1→実施工期H26～H30
	②事業の効果の発現状況	・事業実施後は地すべり運動が沈静化しており、地すべり発生の危険性を軽減できた。 ・緊急輸送道路である一般国道(192号、193号、492号)やJR徳島線を保全したことにより、地域の防災力の向上に寄与した。
	③事業実施による環境の変化	・工事の進入路について、土地の改変が少ない工法を採用した。
	④社会経済情勢の変化	・土地利用や保全対象に変化は無い。 ・地域の高齢化が進み、自力では避難が困難な住民が増えており、事業の必要性は確保されている。
	⑤課題と今後の事業への反映	・市道災害復旧と同時期の施工となったため、工程調整が難航した。今後の事業においても、関係者との調整を綿密に行い、円滑な事業進捗を図る。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成26年	4.5	283	工事費、調査費	1,270	人家15戸、国道390m、JR120m
	完成時	平成30年	6.9	234	工事費、調査費	1,616	人家15戸、国道390m、JR120m

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。